

2025年度もJALは東亜大学と連携し、地域創生を目指します

JALは、東亜大学(所在地:山口県下関市、学長:鶴澤和宏)と2020年8月に締結した連携協定に基づき、これまでさまざまな活動に取り組んでまいりました。このたび、2025年度の初回プロジェクトとして、「JAL向津具(むかつく)ダブルマラソン」におけるエイドステーション(給水・給食所)を共同で運営します。

今回で5回目となる共同運営では、東亜大学の学生50名とJAL社員を合わせ、総勢100名を超えるスタッフがランナーをサポートし、大会を盛り上げます。長門市では高齢化に伴いイベントボランティアの確保が年々難しくなっており、JALと東亜大学は連携協定のもと、共同で地域課題の解決に貢献しております。

また、今回初めて長門市を訪れる東亜大学の学生が、地域の魅力に触れ、再び訪れるようになることを期待するとともに、人財育成の観点でもJALとのボランティア活動を通じて、学生が接客やマナーなどの実践的なスキルを習得する機会の創出を図ります。

JALと東亜大学は今後も連携を強化し、地域社会への貢献に積極的に取り組んでまいります。

記

【これまでの取り組み】

2019年、2022年、2023年、2024年の計4回、JAL向津具(むかつく)ダブルマラソンでのエイドステーション共同運営を実施。

【第9回 JAL向津具(むかつく)ダブルマラソン】でのエイドステーションの共同運営概要】

●大会概要

- ・大会名 : 第9回 JAL向津具(むかつく)ダブルマラソン
- ・日付 : 2025年6月8日(日)
- ・開催場所 : 長門市油谷地区、日置地区、他
- ・主催 : JAL向津具ダブルマラソン実行委員会



●エイドステーションの運営場所

- ・「エイド5」(千畳敷)におけるエイド(飲食)、救護所の運営、マッサージエイドの運営

●特徴

- ・救急救命士、柔道整復師、美容師等のプロの卵が、東亜大学の強みとする専門性を活かしたエイドステーション運営を行います。

以上